



SHOSHINだより

発行:SHOSHIN本部 〒2520804 藤沢市湘南台1-14-4 Tel:0466-45-5555 Fax:0466-43-0439 Email:info@e-shoshin.com URL:www.e-shoshin.com

後期スタート

小学部受験コース 9月1日(火) その他のコース 9月3日(木)

SHOSHINの後期授業は、中学受験コースが九月一日(火)から、その他の学部は九月三日(木)からスタートします。

後期授業では、中学三年生対象の「入試マスタ―講座」、「長文読解特別講座」、十一月二十八日(土)からの「入試直前選択講座」、六年受験生対象の「六年受験月曜特別講座」、「道場」、「単元別講座」、「公立受験講座」などが新たに開講します。

月例テストも、中二・中三は模擬テストを実施します。

また、一学期に引き続き父母面談や相談会(懇親会)を実施し、ご家庭との連絡を密にするとともに、各種の情報をも提供していきます。

中三マスタ―講座

中学三年生は九月から毎週火曜日と木曜日(十八時五十分〜十九時四十分)に「入試マスタ―講座」がスタートします。

この講座では、県立高校の入試問題を中心に演習し、各生徒のレベルアップをはかります。模擬テストとあわせて入試問題に慣れることが合格への第一歩です。

対象は、湘進コースの在室生全員になります。なお、料金は一切無料です。

中二国語が必修に

中学三年生は九月から毎週土曜日(十八時五十分〜十九時四十分)に国語の授業が必修になります。

これによって、英語・数学・理科・社会に加えて国語が必修科目になり、五教科すべてで内申対策および入試対策が行われることとなります。

中三入試直前選択講座

十一月に行われる後期中間テストが終了しますと、中三生はいよいよ入試に向けて最後のスタートを切ることになります。

SHOSHINでは十一月二十八日(土)より二月十八日(木)まで、中三生の授業を「入試直前選択講座」に変更し、各生徒が自由に科目や単元を選択して受講できるようにします。

「入試マスタ―講座」に引き続いて行われるこの講座は、入試に向けて最後の総仕上げ講座になります。

年内を第I期、前期選抜入試までを第II期、後期選抜入試の直前までを第III期として、I期では基礎力の充実を、II期、III期では応用力や発展力の養成にあたります。また、前期選抜合格者のための講座も用意されています。

六年受験月曜特別講座

いよいよ来春の入試まで残すところ五ヶ月を切りました。これから本番に向けて最後の仕上げの時期を迎えることとなります。

夏休み講習会において流した汗を、真の実力に結びつけていくのはこれからです。この最後の作業をどう行うかは、入試結果に直結します。

SHOSHINでも、この最後の総仕上げを目ざし、毎週月曜日に「月曜特別講座」を開講します。なお、九月七日から十一月九日(ただし、九月二十一日と十月十二日を除く)までを「実力錬成期」とし、十一月十六日〜来年の一月二十五日(ただし、十一月二十三日、十二月二十八日、一月四日を除く)を「実践演習期」とします。

時間は、十六時五十分〜十九時となります。また、十九時十分から二十一時までには「道場」と「eトレ」の授業があります。

十五時三十分〜十六時三十分までは質問室も用意されていますので、その後に行われる「単元別講座」や「道場」と組み合わせ、充実した内容になっています。

実力錬成期

私立中学受験月曜特別講座(実力錬成期)
算数α・β 国語α・β
社会α・β 理科α・β
公立中学受験月曜特別講座
文系 適性検査過去問演習
理系 適性検査過去問演習

※ なお、前期「実力錬成期」、「適性検査過去問演習」の募集は終了しています。また、後期「実践演習期」の募集につきましては後日ご案内いたします。

中二・中三模擬テスト

九月より、中学三年生の月例テストは、新教育の「W合格もぎ」を実施します。夏休みおよび冬休み講習会テストとあわせて計六回の実施となります。

また、中学二年生は、九月から月例テストで「育伸学力テスト」に参加します。国語の授業は選択制になっていますが、在室生全員に五科目受験してもらいます。これによって、各生徒の全国レベルでの学力を判断することが可能になります。

	中3	中2
9月	23日(水)	25日・26日(金・土)
10月	18日(日)	16日・17日(金・土)
11月	29日(日)	6日・7日(金・土)
12月	13日(日)	11日・12日(金・土)
1月	7日(木)	11日(月)

全国統一小学生テスト

十一月三日(火・文化の日)には、第五回「全国統一小学生テスト」が行われます。六月七日に実施された前回のテストでは、六万二千八百六十四名の生徒が受験し、全国から成績優秀者が集まり、決勝大会が行われました。

なお、今回の受付は、四谷大塚ネットワークに限り、八月二十八日(金)より「先行予約」(全国一斉受付は九月十八日から)が始まります。また、決勝大会は、十一月二十三日(月・祝)に、四谷大塚お茶の水校舎で行われます。



このテストは、民間教育機関が小学生対象に行う、国内最大のテストです。詳細につきましては、後日お知らせ致します。

合格まつり

十一月三日(火・文化の日)には、毎年恒例の「SHOSHIN合格まつり」が行われます。今年も楽しいイベントが盛りだくさんです。小さなお子様が楽しめるコーナーもあります。秋の一日、近所の方もお誘いの上、ぜひお出かけ下さい。



のびる

いよいよ後期の授業がスタートします。夏休み講習会で勉強したことが、ほんとうの意味で実を結んでいくのがこれからです。特に受験生にとつて、ここからゴールまで、一直線で駆け上らなければなりません。もたもたしたり、うろろろすることは、もう許されません。▼ところで、「生きがい」とは何なのでしょう。勉強はあまり好きではないので、それは私の生きがいにはならない。だから、どうしても勉強には身が入らない、という人がいます。▼でも、生きがいを求めることは、そんなに難しいことなのでしょうか。自分の人生の意義を真剣に考え、自分の生きる目的を定めるならば、自ずとそこに生まれてくるのが生きがいです。だから、生きがいは、真剣な生き方と切り離せないものであって、それさえ忘れなければ、誰にでも手に入れることができるのです。▼有島武郎の「生まれ出づる悩み」の中でも、画家を志望する青年が、家の都合でどうしても郷里に帰って漁師をしなければならず、絵描きとして生きることに悩まされた。この青年の生きがいは、油絵を描くことでした。ところが、数年後、すばらしい絵が東京にあり、再会してみると、その青年は漁師として立派に生きていくことが分かりました。▼きつこの青年も悩んだに違いありません。自分の生きがいは油絵を描くことであって、漁師になることではない。しかし、この青年は真剣に生きました。だから、漁師としても生きがいを発見し、立派になることができたのでしよう。▼生きがいは、好悪の問題ではありません。生きる目的と結びついたものです。だから、勉強が好きだとか嫌いだとか、といった問題ではありません。生きる目的の一つとして欠かせないものであることは確かなのです。あとは、真剣に取り組むかどうかだけです。そして、たとえそれが自分の生きがいは異なるものだったとしても、真剣に取り組んでいくうちに、やがてそこに生まれてくるのが生きがいなのです。▼受験生ばかりではありません。誰の人生の中にもこのようなところがあります。SHOSHINでは、これからこのような生徒を全力でバックアップしていきたいと思えます。(明智)

